

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道180号 <small>そうじゃ いちのみや</small> 総社・一宮バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局																		
起終点	自：岡山県岡山市北区榑津 至：岡山県総社市井尻野			延長	15.9 km																		
事業概要	<p>一般国道180号は、岡山市から松江市へ至る延長約180kmの主要幹線道路である。</p> <p>総社・一宮バイパスは、岡山市北西部・総社市における一般国道180号の混雑緩和・交通安全の確保および沿線環境の改善等を目的とした、延長15.9kmの道路である。</p>																						
S48年度事業化	S63年度都市計画決定 (H-年度変更)	H元年度用地着手	H元年度工事着手																				
全体事業費	約530億円	事業進捗率	32%	供用済延長	3.4 km																		
計画交通量	14,700~35,300台/日																						
費用対効果 分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">B/C (事業全体)</td> <td style="width: 30%;">2.5</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>5.1</td> </tr> </table>	B/C (事業全体)	2.5	(残事業)	5.1	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総費用 (残事業)/(事業全体)</td> <td style="width: 50%;">273/554億円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>228/495億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>45/59億円</td> </tr> </table>	総費用 (残事業)/(事業全体)	273/554億円	事業費	228/495億円	維持管理費	45/59億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総便益 (残事業)/(事業全体)</td> <td style="width: 50%;">1,387/1,405億円</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>1,148/1,165億円</td> </tr> <tr> <td>走行費用減少便益</td> <td>160/159億円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>79/81億円</td> </tr> </table>	総便益 (残事業)/(事業全体)	1,387/1,405億円	走行時間短縮便益	1,148/1,165億円	走行費用減少便益	160/159億円	交通事故減少便益	79/81億円	基準年	平成26年
B/C (事業全体)	2.5																						
(残事業)	5.1																						
総費用 (残事業)/(事業全体)	273/554億円																						
事業費	228/495億円																						
維持管理費	45/59億円																						
総便益 (残事業)/(事業全体)	1,387/1,405億円																						
走行時間短縮便益	1,148/1,165億円																						
走行費用減少便益	160/159億円																						
交通事故減少便益	79/81億円																						
感度分析の結果	<p>【事業全体】交通量：B/C=2.2~2.9(交通量±10%) 【残事業】交通量：B/C=4.3~5.8(交通量±10%)</p> <p>事業費：B/C=2.4~2.6(事業費±10%) 事業費：B/C=4.7~5.5(事業費±10%)</p> <p>事業期間：B/C=2.3~2.8(事業期間±20%) 事業期間：B/C=4.7~5.5(事業期間±20%)</p>																						
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 損失時間の削減が見込まれる ・ 現道における混雑時旅行速度が改善 ・ 利便性の向上が期待できるバス路線が存在する【岡山駅-稲荷山・芳賀佐山団地北】 ・ 高梁市から岡山駅（新幹線駅）へのアクセスが向上 ・ 高梁市から岡山空港（第三種空港）へのアクセスが向上 <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総社市から岡山港（重要港湾）へのアクセスが向上 <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常活動圏の中心都市へのアクセスが向上【総社市～岡山市】 <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 吉備路・備中国分寺（H25年間観光入込み客数約48万人）、総社・宝福寺（H25年間観光入込み客数約22万人）へのアクセスが向上 <p>⑤安全な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間において、安全性の向上が期待できる。 <p>⑥災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山県緊急輸送道路ネットワーク計画（平成26年1月）において緊急輸送道路に位置づけ有り <p>⑦地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CO2排出量の削減が見込まれる 																						

関係する地方公共団体等の意見

総社・一宮バイパスの整備により、交通流動の多い総社岡山間の渋滞緩和、交通安全の確保及び沿道環境の改善が期待されており、岡山市をはじめとする関係4市の首長等で構成される一般国道180号岡山県整備促進期成会より早期整備の要望を受けている。

岡山県知事の意見：

継続するとの対応方針（原案）については異存ありません。交通渋滞の緩和や事故の減少や安全な歩行空間の形成、高速ICアクセス改善による物流支援等にも資する道路であることから、本事業の早期完成を強く求める。

岡山市長の意見：

異議ありません。なお、広域的な交流や渋滞緩和を図るための重要な道路であり、引き続き整備の促進をお願いします。特に、岡山市北区榎津から山陽自動車道接続までの区間について、事業促進による早期供用を要望します。

事業評価監視委員会の意見

事業者から各事業の概要、評価結果及び対応方針（原案）について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次のとおり意見の取りまとめを行った。

審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は、妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

近年、総社市への企業進出が相次いでおり、地域の雇用が増加している。

総社・一宮バイパス沿線に中四国、近畿の広範囲をカバーする中国地方最大級の物流倉庫が完成。

事業の進捗状況、残事業の内容等

昭和48年度に事業化、用地進捗率43%、事業進捗率32%（平成26年3月末時点）

平成5～8年度までに岡山市北区福崎～総社市窪木間 延長1.8km（4/4）部分開通

平成19年度：総社市窪木～総社市総社間 延長1.6km（4/4）部分開通

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

平成27年度：岡山市北区榎津～岡山市北区一宮山崎間 延長1.5km（2/4）開通予定

施設の構造や工法の変更等

今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減を図りつつ事業を推進していく。

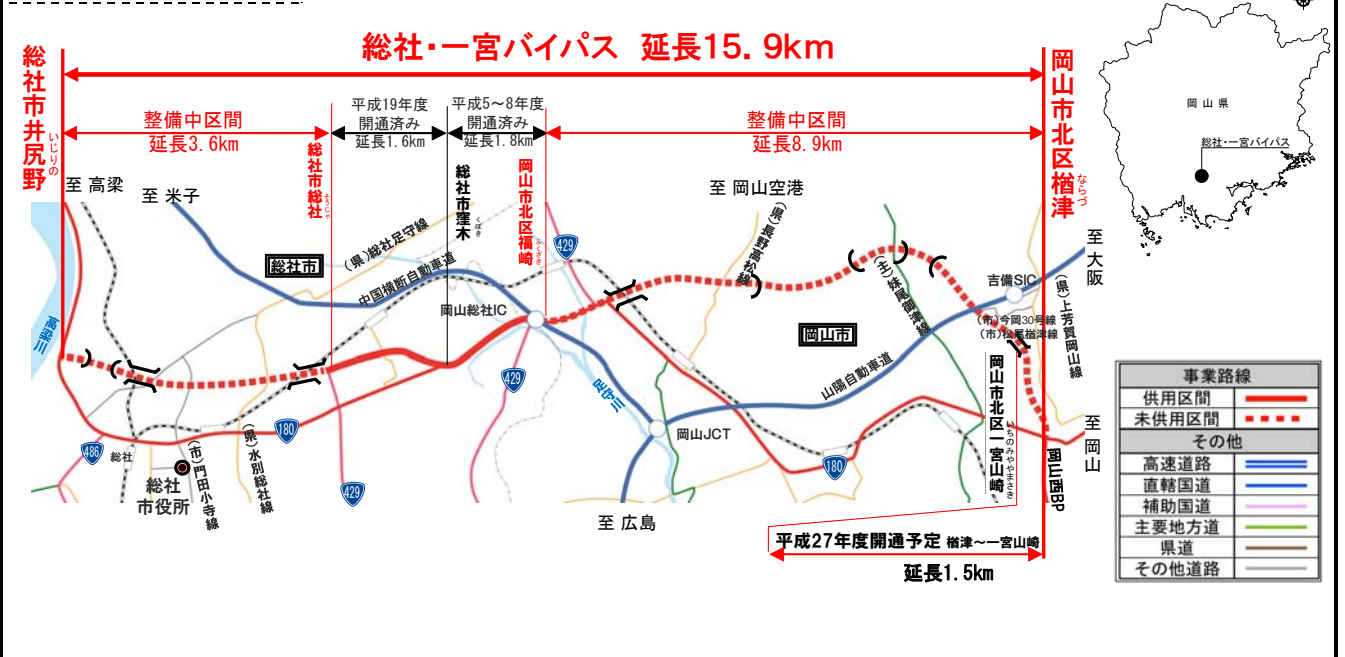
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。